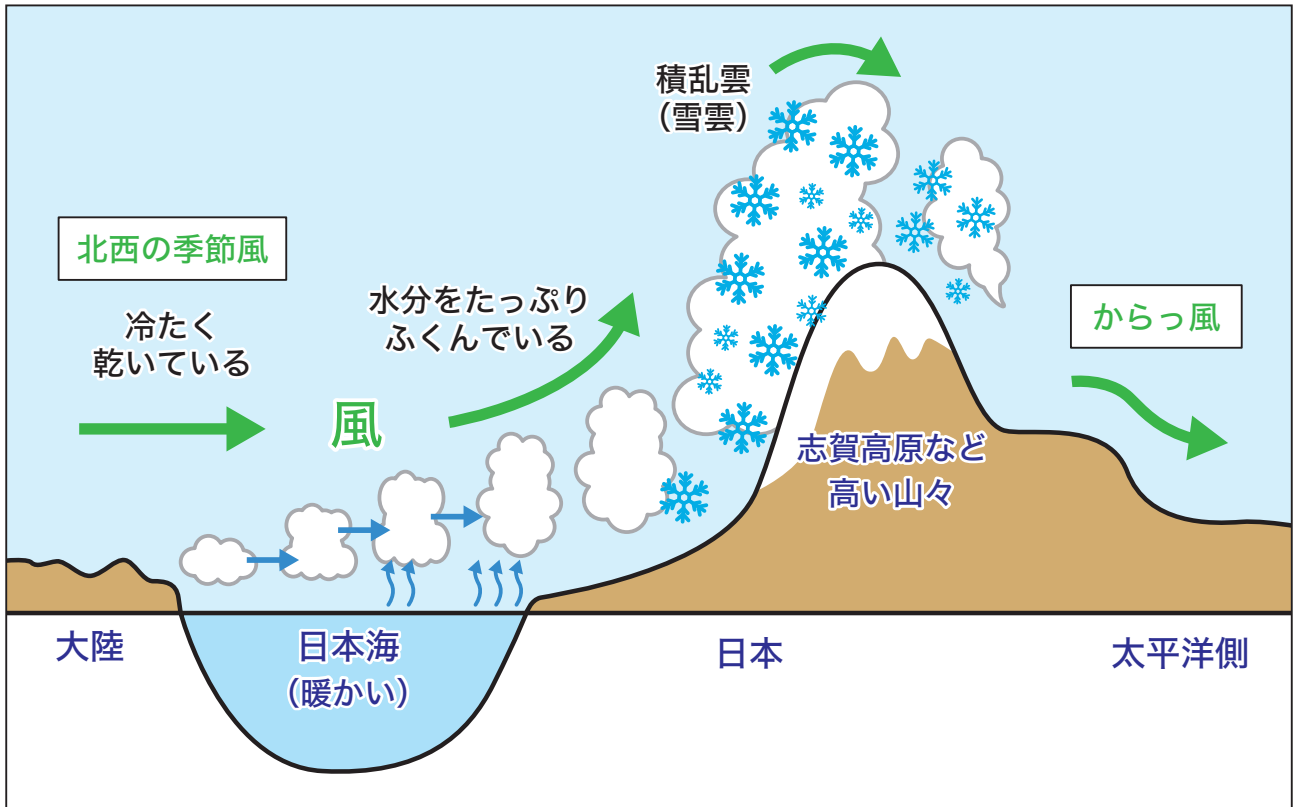


5 変化に富む気候

東京(太平洋側の代表)と高田(日本海側の代表)を比べると、太平洋側では降水量は夏に多く冬に少なく、日本海側では冬に多く雪となります。山ノ内町は冬に雪が多く、日本海側の気候の特徴があります。また飯山、中野、長野と日本海から遠くなるほど積雪は少なくなる傾向があります。



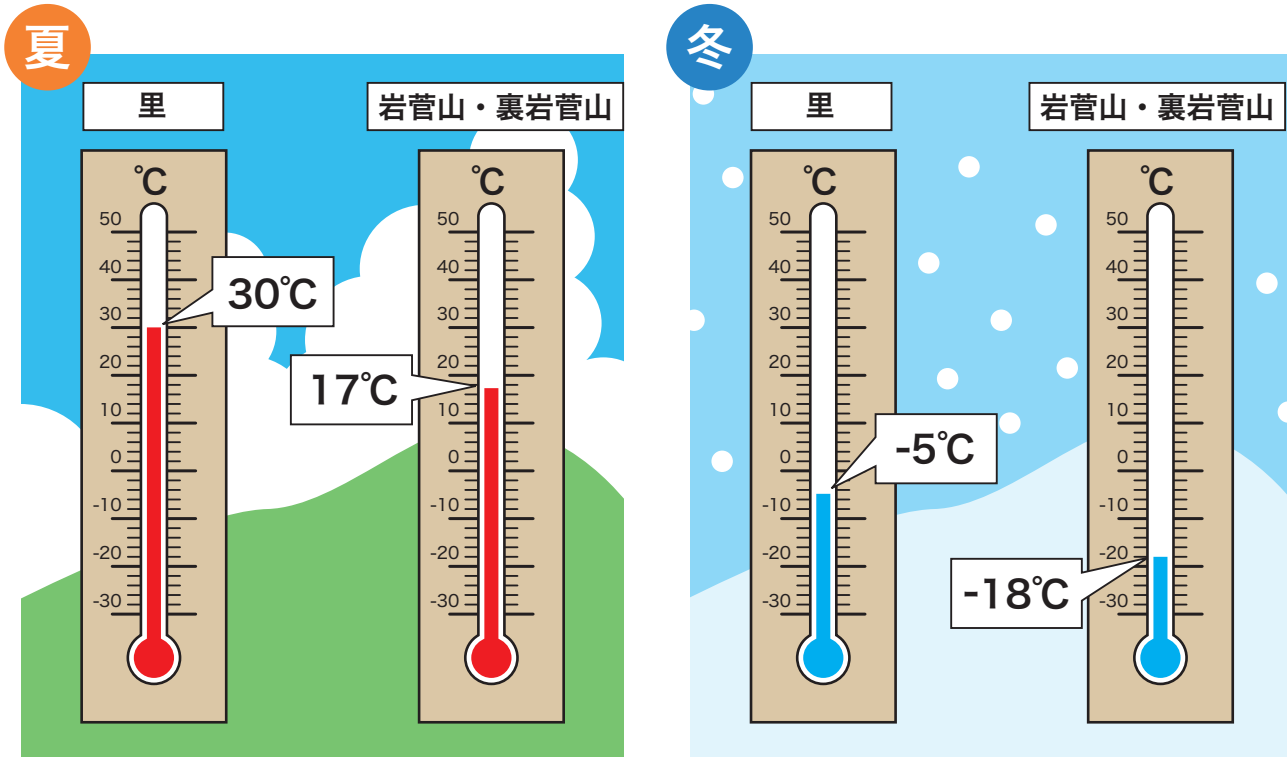
志賀高原に雪がたくさん降るしくみ



雪がたくさん降るのは季節風、日本海、高い山が関係しているんだね。



山ノ内町の標高は約400 mから約2300 mまであり、1500 m以上の地域が約半分を占めます。気温は100 m上昇するごとに0.65℃下がります。里で気温が30℃のとき、標高の高い岩菅山では17℃です。冬、里で-5℃のとき、岩菅山では-18℃となります。



おおむね標高1600 m以上は亜高山帯となり、積雪も多くなります。志賀高原では気温が低く湿度も低いので、サラサラした雪質です。また、樹氷ができます。



樹氷(横手山)